

屋外設置形 (BL 認定品) 暖房専用熱源機 取扱説明書

品名	135-T900 型
型式名	GD-1001W
BL 品番	XS-1204AR5-W

このたびは暖房専用熱源機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
この暖房専用熱源機には保証書がついています。
内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

放熱器についての使用上の注意は、放熱器の取扱説明書にあります。
ご利用の際は、放熱器の取扱説明書もよくお読みください。



大阪ガス

もくじ	ページ	お使いいただく前に
安全に正しくお使いいただくために………	1	お使いいただく前に
この取扱説明書の表示について………	1	
機器本体の表示について………	1	
必ずお守りください………	2	
各部の名称とはたらき………	6	
ご使用前の準備………	7	
機器の準備………	7	
現在時刻を合わせる………	7	
[温水温度リモコンがある場合]		
現在時刻を表示する………	8	
暖房運転をする………	8	故障かな?と思ったら
暖房運転を予約する………	9	
放熱器の運転………	11	
故障かな?と思ったら………	12	長くお使いいただくために
アラーム表示について………	13	
こんな場合には安全装置が働きます………	13	
冬期の凍結予防をするには………	14	裏表紙
点検のポイント・お手入れのしかた………	16	
仕様………	18	
アフターサービスについて………		

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- P. 12～P. 13の「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名: (例) 135-T900型
(ガスの種類: 例えば 13A)
 - (3) お買い上げ日(保証書をご覧ください)
 - (4) 現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (5) 訪問ご希望日

保証について

- この機器には、保証書がついています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のため必要な部品)の保有期間は製造打切り後 10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のごガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 機器の水抜きを行います。
(水抜き方法は、P. 15を参照してください)
 - (3) 電源プラグを抜きます。

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

お願い ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガスに連絡してください。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき、万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

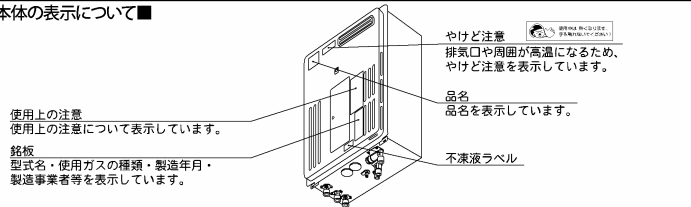
- 危険** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 - 警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 - 注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- お願い** ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX 参照) 参照ページを示しています。

■絵表示については次のような意味があります。



■機器本体の表示について■



使用上の注意
使用上の注意について表示しています。
銘板
型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

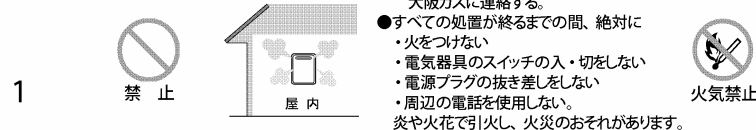
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

危険

屋内設置の禁止

- この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。燃焼ガスが屋内に充満したり、正常な給排気が出来ないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。



ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、
 - ①すぐに使用をやめてガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
 - ②お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。
- すべての処置が終るまでの間、絶対に
 - ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない。
 炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

警告

機器設置 (および付帯工事)

- この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

困い禁止

- 設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

給排気口の周囲

- 給排気口の前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

分解禁止

- お客様ご自身で絶対に分解したり修理・改修は行わない。異常作動して事故の原因となります。

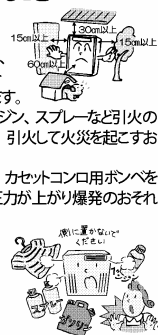
分解禁止

ガス接続について

- この機器のガス管の接続は必ず接続です。ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要です。機器の設置、移動、取外しの際には、必ずお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご相談ください。

火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。
- 機器および排気口の周囲には、紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- 排気口は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。

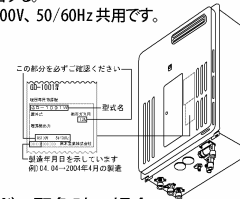


使用ガス、使用電源について

- 銘板 (機器前面に貼付) に表示してあるガス種 (ガスグループ) および電源 (電圧・周波数) の適合を確認する。表示のガスおよび電源が一致しないと使用できない。もし、使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発着火によるやけど、また機器が故障する場合があります。
- 転居されたときも、供給ガスの種類と銘板のガスの種類が一致していることを必ず確かめる。
- わからない場合はお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。
- この機器はAC100V、50/60Hz 共用です。



ガス種・電源を確認



地震・火災などの緊急時の場合

- 迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

異常時の処置について

- ①万一異常な燃焼、臭気、異常音を感じたときはすぐに使用をやめて、ガス栓を閉じる。温水温度リモコンおよび端末機器の運転スイッチも切ってください。
- ②本書の「故障かな?と思つたら」(P.12~P.13)に従って処置をする。
- ③上記の処置をしても直らない場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



ガス栓を閉じる

機器本体に無理な力を加えない

- 機器本体やガスの接続部などに乗らない。けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

やけどに注意

- 機器の使用中はまたは使用後しばらくは、排気口とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。



接触禁止



お使いいただく前に

必ずお守りください

⚠ 注意

電気事故防止

- 電源コードを切断して延長しない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。
- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。



禁止

- 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く。電源プラグにほこりがかかると、温気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

お願い

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときも使用できません。
- 再通電したときは、別売のリモコンを取り付けているお宅では、リモコンの設定を行い、表示を確認したあとご使用ください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜いた場合、別売のリモコンを取り付けているお宅では、リモコンの各設定を行い、表示を確認したのちご使用ください。



電源プラグを抜く



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。
- この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。



アースを接続せよ

用途についての注意

- 暖房以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 車両・船舶への搭載しない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

電源プラグを抜かない

- お手入れの際、長期間使用しない場合および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

別売のリモコンの扱い方について

- リモコンは分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- リモコンには水をかけたり、蒸気を当てないでください。故障の原因となります。
- リモコンはお子様がいざらしめないよう注意してください。



分解禁止

使用する暖房水についての注意

- 暖房水に地下水や温泉水、井戸水を使用しないでください。機器が破損する原因になります。

日常の点検・お手入れ

- 日常の点検、お手入れをしてください。（詳しくはP.16をご覧ください）
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使い方をされると機器の寿命を著しく短めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

長期間使用しないときは

- この取扱説明書P.15の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。



お願い

設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときお隣の家が運転音（燃焼音、燃焼用送風機、ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者にご相談ください）
- 足場などを組んだり、ノシコ、脚立を使わないでメンテナンスができない、高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のため空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。機器の点検・修理のためと、燃焼不良の発生を防止するためです。

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいで、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。



禁止

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP.14「冬期の凍結を予防するには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります。（有料）
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結がとれたあと再使用するときは、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P.7「ご使用前の準備」の項以下の操作を行ってください。
- 凍結予防のために電気を使用していますので緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

排気ガス

- 増改築などによって、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないよう施工してください。変色・破損・腐食のおそれがあります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなどを置かないでください）。



禁止



塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

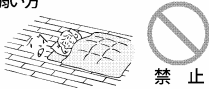
お使いいただく前に

必ずお守りください

警告 床暖房についての注意

やけどに注意

- 高い温度で設定したまま長時間、座ったり寝をべったりしない。低温やけどを起こすおそれがあります。特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意をあげることが必要です。
 - ・乳幼児や自分の意志で体を動かさせない方
 - ・疲労の激しいとき・お酒や睡眠薬を飲まれた方
 - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方



禁止

火災予防

- 床暖房の上のスプレー缶・ライター等を置かない。爆発や火災のおそれがあります。



禁止

床についての注意

- 床暖房を設置している床面に、突起物（釘・画びょう・きり・タニ防虫剤の注射針・はさみなど）を落としたり刺したりしないでください。水漏れの原因になります。



禁止

注意

床についての注意

床に水などがこぼれたらすみやかに拭きとる

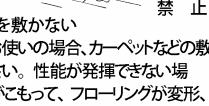
- 床面に水・薬品・しょう油などをこぼしたままにしておきますと、床暖房の放熱板が腐食することがありますので、すみやかに拭きとってください。



禁止

床へは衝撃を加えない

- 床が破損し、水漏れのおそれがあります。



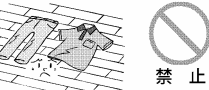
禁止

床仕上げ材の上に敷物を敷かない

- 木質フローリングをお使いの場合、カーペットなどの敷物を敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形、変色することがあります。

用途についての注意

- 床暖房を他の目的に使用しない。特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など）には使わないでください。



禁止

床下防腐処理について

- 床暖房および配管類に処理剤が付着すると腐食することがありますので注意してください。

家具などを直接床に置かない

- 床暖房の上に、調度品・家具などを置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生するおそれがあります。

重いものはそのまま置かない

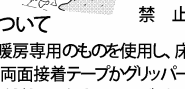
- ビアノなど重量物（ピアノなど）を敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

ホットカーペットとの併用はしない

- 床仕上げ材が変形、変色するおそれがあります。



禁止

カーペットの張替えについて

- 張替えする場合には床暖房専用のものを使用し、床暖房を破損しないように両面接着テープがグリップバーにて固定するようにしてください。釘あるいはびょうで固定するのは避けてください。また、交換を考えると、全面接着することは避けてください。



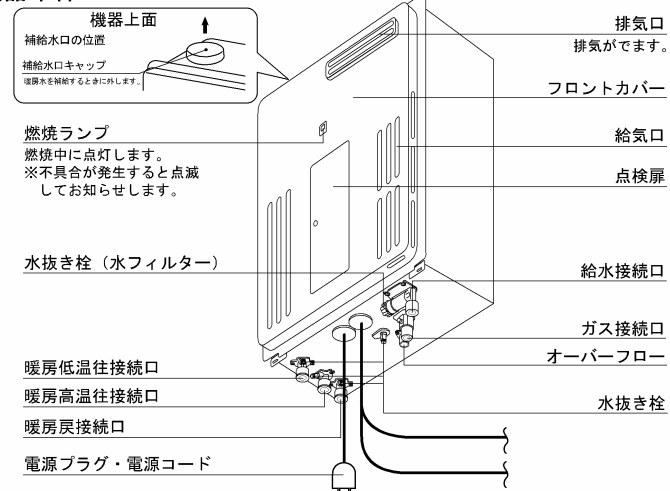
禁止

床暖房以外の放熱器についての注意は、放熱器の取扱説明書にあります。放熱器の取扱説明書をよくお読みください。

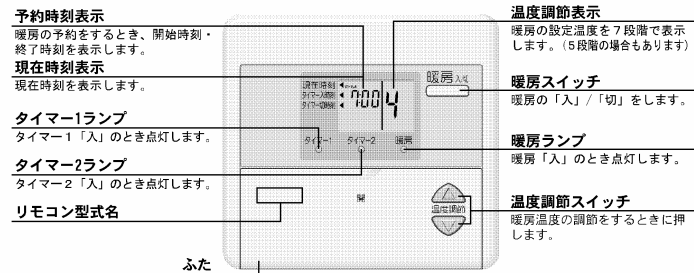
各部の名称とあらさき

この機器の各部の名称とあらさきを紹介します。

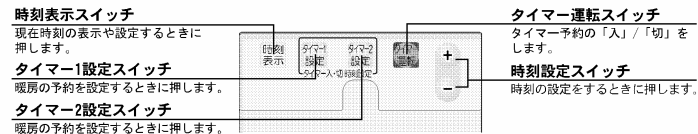
機器本体



温水温度リモコン 138-T300型（別売品）



ふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。



お守りください

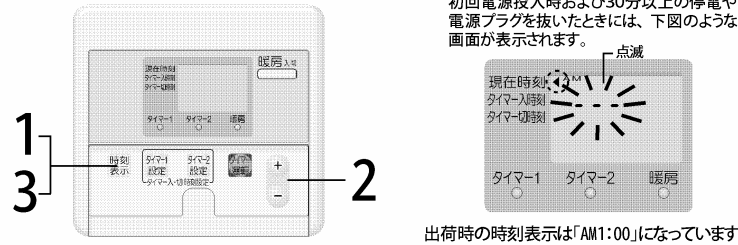
ご使用前の準備

■機器の準備

- 1 確認を行います**
機器や機器周辺の点検・確認を行います
- 2 給水元栓を全開にします**
- 3 ガス栓を全開にします**
- 4 電源プラグを差し込みます**

■現在時刻を合わせる〔温水温度リモコン138-T300型（別売品）がある場合〕
暖房スイッチの「入」/「切」に関係なく、時刻設定ができます。

初回電源投入時および30分以上の停電や電源プラグを抜いたときには、下図のような画面が表示されます。



出荷時の時刻表示は「AM1:00」になっています

- 1 時刻表示スイッチを長押し(3秒以上)します**
時刻表示部が点滅します。
- 2 時刻を合わせます**
+ — 時刻が進みます
- — 時刻が戻ります
1回押す毎に1分ずつ変わります。
1.5秒以上押し続ける ⇒ 10分ずつそのまま押し続ける ⇒ 30分ずつさらに押し続ける ⇒ 1時間ずつ
- 3 時刻表示スイッチを押す、または10秒間放置します**
時刻表示部が点滅から点灯に変わり、現在時刻が確定されます。

7

現在時刻を表示する

■時刻表示を消すには



時刻表示スイッチを押します。
もう一度押すと、時刻が表示されます。

暖房運転をする

■温水温度リモコン（138-T300型）で暖房運転をする
温水温度リモコンがない場合は、放熱器の取扱説明書をご覧ください。

- 1 暖房スイッチを「入」にします**
暖房ランプが点灯します。
- 2 温度を調節します**
温度が高くなります
温度調節
温度が低くなります
1～7の7段階で温度の調節ができます。

ご使用の目安

暖房調節表示	1	2	3	4	5	6	7
暖房水の温度(約℃)	45	50	55	60	70	75	80

□：工場出荷時

※放熱器の種類により、1～5の5段階の場合があります。
※低温用の床材（フローリングなど）で、5～7に設定されると、低温やおそれがあります。

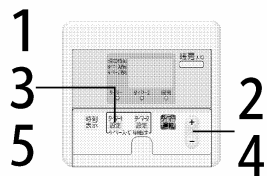
使
い
か
た

- お願い**
- 補給水タンク内の暖房水が一定量以下になると暖房運転が停止します。このとき機器本体の燃焼ランプが点滅表示し、温水温度リモコン:138-T300型には「543」のアラーム表示を行います。（→P.13 参照）給水元栓が全開になっていることを確認してください。
 - 使い始めや温度調節の変更を行ったときは、設定温度になるまでに時間がかかります。
 - 温水温度リモコンを利用して放熱器（浴室暖房乾燥機・床暖房等）を運転中に、放熱器が暖まりにくい・熱すぎる等、温度調節が上手く働かない場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

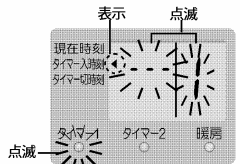
8

暖房運転を予約する

■タイマー時刻の設定 タイマー時刻は2回まで設定できます。



初回電源投入時および30分以上通電が止まって再通電したときには、下図のような画面が表示されます。

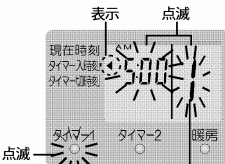


出荷時のタイマー時刻はP. 10参照

1 タイマー1(2)設定スイッチを押します



タイマー入時刻の右側に◀が表示され時刻表示部が点滅します。



タイマー番号

2 「入」時刻を合わせます

+ 時刻が進みます

- 時刻が戻ります

1回押す毎に1分ずつ変わります。
1.5秒以上押し続ける ⇒ 10分ずつそのまま押し続ける ⇒ 30分ずつさらに押し続ける ⇒ 1時間ずつ

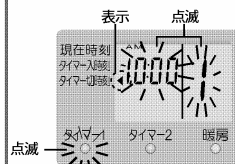


(例: AM6:00に設定した場合)

3 タイマー1(2)設定スイッチを押します



タイマー切時刻の右側に◀が表示されます。

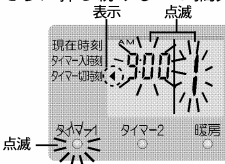


4 「切」時刻を合わせます

+ 時刻が進みます

- 時刻が戻ります

1回押す毎に1分ずつ変わります。
1.5秒以上押し続ける ⇒ 10分ずつそのまま押し続ける ⇒ 30分ずつさらに押し続ける ⇒ 1時間ずつ



(例: AM9:00に設定した場合)

5 タイマー1(2)設定スイッチを押す、または10秒間放置します



タイマー1(2)ランプが点滅から点灯に変わります。現在時刻に戻ります。



- タイマー設定は一度設定しておく、設定時刻を記憶します。
- タイマー1および2は同じ操作で設定ができます。(タイマー番号表示に「1」または「2」が表示されます)
- 設定中に10秒間放置すると、画面に表示された時刻で確定されます。

タイマー運転について

タイマー運転はセットした時刻になると自動的に暖房の「入」/「切」を行います。

毎日同じ時刻に暖房運転をしたい場合は、タイマー1・2ランプが点灯した状態にしておけば、暖房スイッチを何度も押す必要がありません。

タイマー時刻は、1日2回まで設定できます。

(例) AM5:00~AM10:00 (タイマー1)
工場出荷時の設定 PM4:00~PM9:00 (タイマー2)

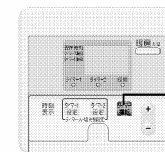
AM	PM	AM
0:00	5:00	10:00
		0:00
		4:00
		9:00
		0:00

※タイマー運転中に暖房スイッチを押すと、暖房運転が停止します。ただし、次のタイマー入時刻が来ると暖房運転が開始します。

タイマー運転をする

タイマー運転を行うときは、以下のことを確認してください。

- 暖房の温度を確認。
- 現在時刻が合っているかを確認。(P. 7参照)

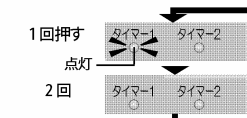
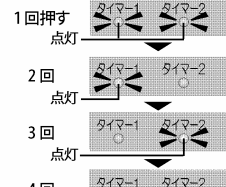


使
い
か
た

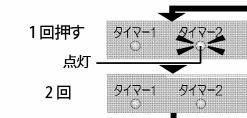
1 タイマー運転スイッチを押します

タイマー1およびタイマー2ランプの点灯により、タイマー運転がされることを示します。

■タイマー1と2の時刻設定がされている場合 ■タイマー1のみ時刻設定がされている場合



■タイマー2のみ時刻設定がされている場合

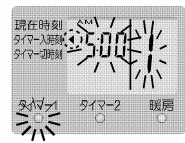


暖房運転を予約する

■タイマー設定時刻のリセット

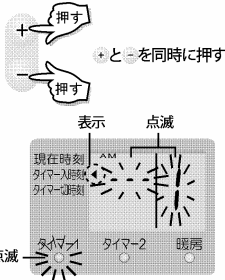
タイマー設定時刻をリセット（設定解除）することができます。

1 「タイマー時刻の設定」の項1を表示します

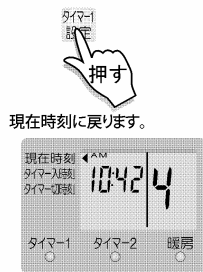


タイマー2の場合も同様にリセットができます。

2 時刻設定スイッチを押します



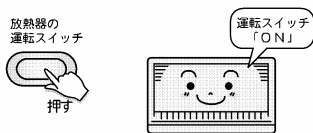
3 タイマー1(2)設定スイッチを押す、または10秒間放置します



放熱器の運転

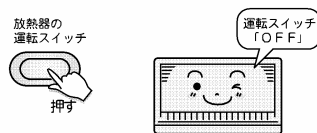
■ファンコンベクターの場合（詳しくはファンコンベクターの取扱説明書をご覧ください）

1 放熱器の運転スイッチを「入」にします



しばらくしてファンが回り、暖かい空気が出ます。

2 放熱器の運転スイッチを「切」にします



放熱器の暖房運転が停止します。

- その他の放熱器（浴室暖房乾燥機・床暖房など）を使用する場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
● 床暖房を使用して、床暖房リモコンを取付けている場合は、付属の取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。まずは次の点を確認してください。

こんなとき

故障ではありません

寒い日に排気口から白い湯気がでる	外気温が低いときには、排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。
冬期など寒いときポンプが自動的に回る	凍結予防のため、ポンプが自動的に回っています。
冬期など、暖房を使っていないのに機器が燃焼する	暖房回路の凍結予防のため、外気温が一定温度以下に下がると機器が自動的に燃焼します。異常ではありません。
暖房ポンプがときどき自動的に回る	エア抜きをするためと、ポンプの固着を防止するための機能ですので、異常ではありません。
床面の温度がなかなか暖まらない	床面の暖まり具合は、仕上げ材の種類・床下断熱材や外気温などによって変化します。暖房感が得られるようになるには木質のフローリング、カーペットなどの場合約30分～1時間で、畳、タイル、天然石などの場合、約1時間～2時間の予熱時間が必要です。別売の床暖房リモコンや温水温度リモコン(138-T300型)を取付けている場合はあらかじめタイマー運転を設定してご使用ください。（設定方法はそれぞれの機器およびリモコンの取扱説明書をご覧ください）
床暖房を使用していないのに床が暖まることがある	床暖房は回路内にたまった空気を抜くために、約1ヶ月ごとにポンプが自動的に回ります。このときに他の暖房端末(浴室暖房等)を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。
床面の暖かさが場所によって少し違う	床暖房はパイプ内に温水を循環させて床を暖めており、温水の流れている所とそうでない所では床面の温度に若干の差が発生しますが異常ではありません。
床面の足触りが場所によって少し違う	カーペットや防音フローリングなど、柔らかい仕上材では床暖房の固定部分や温水接続部などのため、床面の足触りがかたく感じられることがありますが、異常ではありません。
床暖房使用中に音がする	床暖房を使用しますと、ごくまれに床面に音がする場合があります。これは、床暖房の熱によって床暖房部材および仕上材など床の構造体が膨張・収縮し、その際に発生するものであり異常ではありません。
クッションフロアが部分的に変色している	床仕上材がクッションフロアシートの場合、長期間ご使用になりますと床表面にちりなどが付着して、変色したように見えることがありますが、異常ではありません。薄めた中性洗剤を含ませた布で拭くと汚れは目立たなくなります。

こんなとき

ここを調べてください

暖房がきかない（ききが悪い）	<ul style="list-style-type: none"> ◎ガス栓が全開になっていますか？（→P7） ◎別売の温水温度リモコン(138-T300型)がある場合（→P8）暖房スイッチが「入」になっていますか？設定温度は適切ですか？ ◎放熱器の設定温度は適切ですか？（各放熱器の取扱説明書をご覧ください）
機器の燃焼ランプが点灯しない（運転しない）	<ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？（→P7） ◎停電していませんか？（→P3） ◎ガス栓が全開になっていますか？（→P7） ◎凍結していませんか？（→P14）ガス栓が全開であることを確認後、放熱器の運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。
燃焼ランプが点滅（運転しない）	◎暖房水が少なくなっていないですか？（給水配管をしていない場合）水を補給してください。（→P17）
運転中に機器から異常音がきこえる	点検を依頼してください。

故障かな？と思ったら

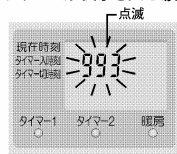
それでもわからないときはアフターサービスをお申しつけください

故障かな?と思ったら

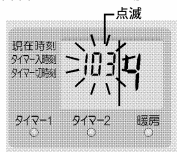
■アラーム表示について

- この機器が故障すると燃焼ランプが点滅し、自動的に運転を停止します。
- 別売の温水温度リモコン:138-T300型には故障診断機能が付いています。熱源機が故障するとその故障原因に応じてリモコンの画面にアラーム番号が点滅し、自動的に運転を停止します。
- 下記の処置をしても燃焼ランプが点滅しているときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際、表示されているアラーム番号もお知らせください。

例) アラームが表示された場合



例) 警告が表示された場合



アラーム番号	内 容	処置・方法
033	未対応ガス種選択	修理を依頼する
103	温水温度切替異常	
113	自己診断燃焼異常警告	ガス栓確認後リセット操作
123	点火不良	
143	空だき安全装置作動	修理を依頼する
173	暖房回路漏水異常	
313	暖房サーミスタ断線・短絡	
323	凍結予防サーミスタ断線・短絡	
333	低温往サーミスタ断線・短絡	
393	サーモカップル異常	
433	水位電極異常	
513	元ガス電磁弁・ガス電磁弁故障	
543	補給水電磁弁異常	
613	ファン回転異常	
623	暖房ポンプ回転異常	
703	電装基板故障	
713	ガス電磁弁駆動回路故障	
723	ブリ・ポスト異常	
740	リモコン基板故障	
743	リモコン通信異常	
763	インテリ端末通信異常	
993	自己診断燃焼異常	

リセット操作 暖房スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから再び「入」にする。

XE ●アラーム番号“543”が表示されたときは、暖房水を補給することにより、アラームが解除される場合があります。(暖房水の補給方法→P.17参照)

■こんな場合には安全装置が働きます ()はアラーム番号

- 立ち消え安全装置 (フレイムロッド方式) (123) バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスを自動的に停止します。
- 空だき安全装置 (バイメタル式) (143) 熱交換器が空だきしたときに作動し、燃焼を自動的に停止します。
- 過熱防止装置 (温度ヒューズ) 機器内部の雰囲気温度が異常に高くなったとき作動し、燃焼を自動的に停止します。
- 漏電安全装置 (漏電リレー) 万一漏電した場合、電源をOFFにする装置です。
- ファン回転検出装置 (回転検出方式) (613) 燃焼用ファンモーターが正常に回転しないときに作動し、燃焼を自動的に停止します。
- 凍結予防装置 (電気ヒーター+暖房低温燃焼運転) 機器内の雰囲気温度が低下すると作動し、機器内の凍結を予防します。
- 空だき防止装置 (水位電極) 低水位になると自動的に暖房水を補給しますが、万一補給しない場合は自動的に運転を停止します。

冬期の凍結を予防するには

■凍結予防装置による方法

- この機器には、外気温が下がってくると、自動的に暖房タンク内の水(湯)を循環させ、暖房低温燃焼を行い、機器内や暖房配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。通常は機器及び放熱器の電源プラグをコンセントに差し込まれた状態にし、ガス栓を開けておいてください。



お願い

- 方法は各放熱器によって異なります。再使用のしかたも含め、放熱器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、作動しませんのでご注意ください。
- この方法では、機器内の凍結は予防できても給水配管は凍結することがありますので、必ず保温材を巻くなどの措置をしてください。

■不凍液による方法

- 寒冷地では不凍液を使用してください。不凍液は経年劣化します。毎シーズン初めにお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスにチェックを依頼して、3年に1回交換してください。
- 暖房システムの凍結予防のために指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪い影響を与える場合がありますので使用しないでください。
- 不凍液は、不凍液の取扱説明書に記載されている方法で正しく使用してください。

凍結したときは

- 凍結したときはガス栓を閉じ、使用しないでください。凍結したままで使用すると、機器や配管が破損することがあります。
- 凍結が解けたあと、水漏れのないことを確認のうえご使用ください。
- 取扱説明書にしたがった凍結予防の処置をせずに機器や配管が凍結しますと、高額な修理費用(有料)がかかる場合があります。
- 機器や配管が破損し、水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理・補修費用は、お客さまの負担になります。

故障かな?と思ったら 長くお使いいただくために

冬の凍結を予防するには

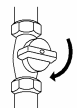
■機器の水を抜く方法（長期不在のとき）

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は次にお使いになるまでそのまましておいてください。

- 暖房循環回路に不凍液を使用している場合は、水抜き栓 (7) のみを開けて行ってください。
- 不凍液を使用しているか、不凍液注入識別ラベル (P. 1「機器本体の表示について」参照) で確認してください。

⚠注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

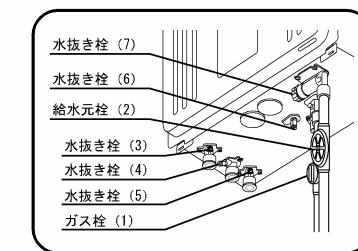
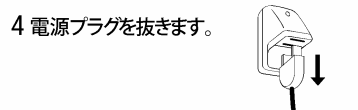
1 ガス栓 (1) を閉じます。



2 給水元栓 (2) を閉じます。



3 水抜き栓 (3) (4) (5) (6) を左に回して開けます。30秒程したら水抜き栓 (7) を開けます。



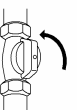
再使用する場合

1 水抜き栓 (3) (4) (5) (6) (7) を閉じます。

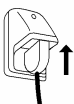
2 給水元栓 (2) を開けます。



3 ガス栓 (1) を開けます。



4 電源プラグをコンセントに差し込みます。



お願い

- 機器内の水抜きを行った場合は、再び使用するとき水張り作業が必要です。不明な点はお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 水抜き栓は元通りに確実に閉じてください。閉じかけが不十分であったり、閉じ忘れたりするとそこから水漏れします。
- 水抜き栓の閉じ忘れなどによる水漏れで周囲の壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理・補修費用はお客様の負担となります。
- 水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や放熱器内の水も出できます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

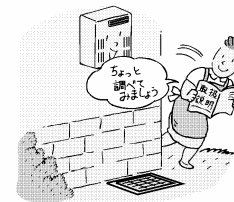
点検のポイント・お手入れのしかた

安全に長くお使いいただくために点検とお手入れは定期的に行いましょう。

■点検のポイント

次の6つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気はありませんか？
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？整然とされていますか？
機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然していると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くも巣がまったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により給気口・排気口が塞がれていませんか？
給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には給気口・排気口の点検・除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口を閉塞するおそれがあるときには、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
- 洗剤およびシンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ(有料)

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

⚠警告 ●フロントカバーを外したり、別売のリモコンを分解しない。



分解禁止

●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- リモコンには水をかけないようご注意ください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。

お願い ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

長くお使いいただくために

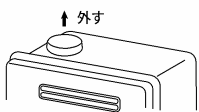
点検のポイント・お手入れのしかた

■暖房水の補給について

給水配管がない場合

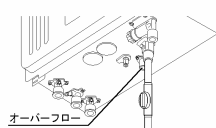
暖房水の補給が必要になると、燃烧ランプの点滅やアラーム番号“543”の表示でお知らせします。不凍液を使用していない場合は、以下の手順で補給水口から水を補給します。

1 補給水口キャップを外します



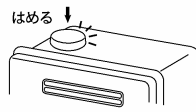
⚠ 運転直後等、暖房水が高温になっているときは、温風が吹出してやけどをするおそれがあります。冷えてから外してください。

2 補給水口から水を入れます



補給水口からやかん等で、必ず水道水を補給します。(地下水等を使用しないでください) オーバーフローから水が出てくるまで入れます。

3 補給水口キャップをはめます



補給水口キャップをしっかりはめます。

給水配管がある場合

●暖房水は自動的に補給されます。給水元栓は開いたまゝにしておいてください。

■不凍液の交換

●不凍液を使用している場合、不凍液は経年劣化するため、毎シーズン初めにお買い上げの販売店、または大阪ガスにチェックを依頼して、3年に1回交換してください。

■点検・お手入れ後の確認

●点検・お手入れ後は、機器が正常に作動するか確認してください。

万一、異常な燃烧・臭気・音を感じたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

○お願い

- やかん等で暖房水の補給を行うとき、やかんの中にゴミや異物が入っていないことを確認してください。機器の中にゴミや異物が入ると機器損傷の原因になります。
- 配管からの水漏れなどにより、暖房水が一定以下になると、安全装置が働き、暖房運転を停止します。万一、機器や放熱器から水が漏れはじめるときは暖房水の補給をせず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 暖房水の補給は、4～5か月に1回程度ですが、暖房使用時間により異なります。

仕様

■仕様表

項目	内容	
品名	135-T900型	
型式名	GD-1001W	
外形寸法 (mm)	高さ600×幅470×奥行225	
質量 (kg)	22	
種類	暖房方式	温水循環方式
	給排気方式	屋外強制排気方式
設置方式	屋外壁掛設置形	
点火方式	暖房	AC100V連続放電式 (ダイレクト着火)
水圧使用水圧	暖房	80～500kPa (0.8～5.0kgf/cm ²)
最低作動水量	暖房	0ℓ/分以上 (締切り使用可)
ポンプ機外揚程	暖房	低温側 70kPa (10ℓ/分時)
	暖房	高温側 60kPa (10ℓ/分時)
温度制御方式	暖房	電子式ガス比例制御およびON・OFF制御方式
ファン制御方式	暖房	回転数制御
消費電力	最大120W	
	凍結予防作動時: 最大135W	
接続	ガス	15A (R1/2) オネジ
	給水	15A (R1/2) オネジ
	暖房	QF16ジョイント
	オーバーフロー	15A (R1/2) オネジ
安全装置	電	本体電源 AC100V (50/60Hz)
	気	立消え安全装置 (フレイムロッド方式) 空だき安全装置 (バイメタル式) 過熱防止装置 (温度ヒューズ) ファン回転検出装置 (回転検出方式) 漏電安全装置 (漏電リレー) 空だき防止装置 (水位電極) 凍結予防装置 (電気ヒーター+暖房低温運転) 誘導電保護装置 (サージアブソーバー) 過電流安全装置 (ガラス管ヒューズ)
付属品	配線一式、取扱説明書、設置工事説明書	

■能力表

使用ガス・使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW {kcal/h}	暖房能力 kW {kcal/h}
都市ガス 13A	14.5 {12,500}	11.6 {10,000}
LPGガス	14.6 {1,04kg/h}	11.6 {10,000}

○ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
○本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために